

※詳細は 2027 年度入学試験要項で必ず確認すること

① 一般選抜概要

■ 一般選抜（A日程・B日程） 募集専攻

募集人員：A・B日程合わせて 100名

| 募集専攻 | コース・楽器 |
|---------------------|---|
| 声楽専攻 | ●声楽芸術 |
| 器楽専攻 | ●鍵盤楽器 ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース、 チェンバロ、オルガン |
| | ●弦楽器 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、 クラシックギター |
| | ●木管楽器 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、 サクソフォーン |
| | ●金管楽器 ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、 ユーフォニアム |
| | ●打楽器 (ティンパニ、小太鼓、マリンバ) |
| 作曲指揮専攻 | ●作曲「芸術音楽コース」 ●作曲「ミュージック・メディアコース」 ●指揮 |
| 音楽文化教育専攻 | |
| ミュージック・リベラルアーツ専攻 | |
| 吹奏楽アカデミー専攻 | |
| ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | |

※ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コースについては、「対面式」と「非対面式(実技の動画審査)」から選択することが可能です。実技以外の試験科目は対面式での受験となります。

※ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ)、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)については、「対面式」と「非対面式(実技の動画審査およびオンライン面接)」から選択することが可能です。実技と面接以外の試験科目は対面式での受験となります。

※「非対面式」で受験する場合の面接は Zoomで行います。

※動画提出方法の詳細については、ホームページ入試案内(学部)の「演奏実技動画の撮影および提出方法について」を参照してください。

■ 日程

| 入試要項の発表 | 2026年7月下旬～ | |
|---------|--|--|
| | A日程 | B日程 |
| 出願期間 | 2027年1月6日(水)～18日(月) | 2027年2月27日(土)～3月5日(金) |
| 試験期間 | 2027年2月16日(火)～20日(土) ※一部の試験を2月21日(日)に 実施予定 | 2027年3月16日(火)～17日(水) ※一部の試験を3月15日(月)に 実施予定 |
| 合格発表 | 2027年2月26日(金)15:00～ 2月28日(日)17:00 | 2027年3月18日(木)15:00～ 20日(土)17:00 |
| 入学手続期間 | 2027年2月27日(土)～3月5日(金) | 2027年3月19日(金)～24日(水) |

■ 試験科目

| | |
|---------|---|
| 個別学力検査等 | <p>I. 各専攻(ミュージックビジネス・テクノロジー専攻はII.を参照) 以下(1)～(3)より1つ選択。 (1)大学入学共通テスト* 外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。 「英語」は筆記とリスニングの双方を課す) 音楽文化教育専攻とミュージック・リベラルアーツ専攻は「英語」のみ選択可能 (2)本学が行う試験(英語) (3)資格試験(詳細は「出願時の英語資格・検定試験について」参照)</p> <p>II. ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 以下(1)～(3)より1つ選択。 (1)大学入学共通テスト* の任意の1科目 (「英語」は筆記とリスニングの双方を課す) (2)本学が行う試験(英語または数学のいずれかを選択) (3)資格試験(詳細は「出願時の英語資格・検定試験について」参照)</p> |
| 実技試験等 | <p>●全専攻 各専攻入学試験科目</p> |

*大学入学共通テストの試験日は2027年1月16日(土)・1月17日(日)です。詳細は「大学入学共通テスト実施要項」(大学入試センターホームページ)をご確認ください。

■ 出願時の英語資格・検定試験について

●一般選抜(A日程)

大学入学共通テストの「外国語」(専攻によっては「外国語」(英語))に代わるものとして、本学が行う試験(英語)の他、以下のいずれかの資格を利用できます。出願時に該当資格試験証明書の原本を1種類提出することが必要です。取得時期は問いません。ただし、各試験の実施団体が有効期限や公式証明書を再発行できる期限を定めている場合があります。

証明書の原本が手元がない場合は出願時までに取り得してください。

評定は、文部科学省が公表したCEFRとの対照表に基づき、本学独自に換算します。

| 名称 | スコア | |
|--|--|--|
| | 声楽専攻、器楽専攻、作曲指揮専攻、音楽文化教育専攻、吹奏楽アカデミー専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | ミュージック・リベラルアーツ専攻 |
| ケンブリッジ英語検定 | 120 以上 | 140 以上 |
| 実用英語技能検定(S-CBT含む) | 準2級以上 | 2級以上 |
| GTEC(アセスメント版を除く) | 680 以上 | 930 以上 |
| IELTS(Academic)※ | 4.0 以上 | 4.5 以上 |
| TEAP | 135 以上 | 225 以上 |
| TOEFL iBT※ | 2.5 以上(2026年1月21日以降取得)/42 以上(2026年1月20日まで取得) | 3.5 以上(2026年1月21日以降取得)/52 以上(2026年1月20日まで取得) |
| TOEIC®(L&R/S&W) (公開テストのみ) ※※ | 625 以上 | 1150 以上 |
| TOEIC Bridge®(L&R/S&W) (公開テストのみ) ※※ | 129 以上 | 170 以上 |

※IELTS および TOEFL iBT は電子スコア利用可能

※※TOEIC および TOEIC Bridge (L&R/ S&W)については、S&W のスコアを 2.5 倍にして合算

●一般選抜（B日程）

調査書に基づいて外国語評定を行います。

（但し、ミュージック・リベラルアーツ専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻を除く）

■出願資格

以下の1. 2. 3. のいずれかに該当する者

1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または中等教育学校を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校(3)の3年次を修了した者および2027年3月修了見込みの者
3. 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1)外国において学校教育における12年の課程を修了した者(2027年3月31日修了見込みの者を含む)、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者
 - (3)指定された専修学校の高等課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者
 - (4)旧制学校等を修了した者
 - (5)外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Aレベル・国際Aレベル(いずれも3科目以上でE以上の評価を取得していること)、欧州バカロレア資格を保有する者および2027年3月31日までに保有見込みの者
 - (6)国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia)の認定を受けた教育施設12年の課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者
 - (7)高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者および2027年3月31日までに合格見込みの者
 - (8)本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者(「[口個別の入学資格審査について](#)」参照)

※上記1. 2. 3. に加え、外国籍を有する者は以下4. 5. に該当していること(「永住者」は除く)。

4. 出願時に日本語能力試験(JLPT)でN2以上に合格している者、または日本留学試験(EJU)「日本語」(読解、聴解および聴読解のみ。記述を除く)で200点以上を取得している者(ミュージック・リベラルアーツ専攻を除く)

※ミュージック・リベラルアーツ専攻志願者は、出願時に4. の日本語能力の証明書を取得している必要はありませんが、日本の大学での授業や学生生活に十分な日本語能力は必要です。入学時まで、「日本語能力試験(JLPT)」N2以上、または日本留学試験(EJU)「日本語」(読解、聴解および聴読解のみ。記述を除く)で200点以上の取得に努めること。

5. 出願時に、日本の大学に入学することが可能な在留資格(「留学」等)を有していない場合、4月入学に必要な在留資格(「留学」)の取得が入学時まで完了せず、日本への渡航が授業開始に間に合わない可能性があること、または4月入学後に在留手続きのため一時帰国が必要となり、欠席となり単位取得に影響する可能性があることをあらかじめ了承のうえで出願する者。

※ビザ取得の審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。出願時に在留資格(「留学」等)を有していない者は、一般選抜ではなく、外国人留学生選抜 春入学(10月実施)または外国人留学生選抜 秋入学(2月、3月実施)の受験を推奨します。

□個別の入学資格審査について（出願資格 3. (8)により出願を希望する者）

- [対象者] 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者または卒業見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達する者（出願資格 1. 2. 3. (1)～(7)に該当する者を除く）
※当該学校の中途退学者は、高等学校卒業程度認定試験（大学入学試験検定を含む）に合格すること。
- [出願資格審査] 上記の者は、事前に出願資格審査を受け、出願資格を認められた場合に限り出願できるものとする。
- [申請期間] ①一般選抜(A日程・B日程)の志願者で、大学入学共通テストを受験する者
2026年9月4日(金)～9月11日(金)(必着)
②①以外の一般選抜(A日程)志願者
2026年11月20日(金)～11月30日(月)(必着)
③①以外の一般選抜(B日程)志願者
2027年1月6日(水)～1月13日(水)(必着)
- [申請方法] 次の書類を揃えて申請すること。なお、提出された書類は一切返却しない。
<申請書類> 1. 出願資格審査申請書(本学所定用紙)
2. 当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
3. 当該学校の卒業証明書または卒業見込証明書
4. 当該学校の成績証明書
5. 当該学校の教育内容を証明できるもの(当該学校の卒業要件となる履修科目および単位時間数一覧)
- [申請先] 〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1 東京音楽大学 入試課
※「出願資格審査申請書類在中」と朱書きのこと
- [審査基準] 申請者の当該学校の教育内容等が、高等学校の教育内容と同等以上と認められ、かつ、申請者が卒業に必要な単位を修得または修得見込であること。
- [審査結果] 下記期日までに、メールで通知。
・申請期間①: 2026年9月18日(金)
※認定を受けたものは、大学入学共通テスト出願時に「出願資格認定書」を添付して大学入試センターに手続きのこと。
・申請期間②: 2026年12月18日(金)
・申請期間③: 2027年1月29日(金)

<受験上・修学上の配慮を希望する志願者について>

疾病や障がいなどにより受験時や入学後の修学において特別な配慮が必要な場合、個別の状況に応じて必要かつ合理的な配慮を検討し、適切な支援を行っております。

合理的な配慮を希望される方は、URL もしくは QR コードより内容をご確認の上、申請を期日までに行ってください。

[URL]

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/43807.php>



[期日]

| | |
|---------------------|----------------|
| 一般選抜(A日程)、編入学・転入学試験 | 一般選抜(B日程) |
| 2026年11月30日(月)必着 | 2027年1月6日(水)必着 |

■専攻別試験科目・配点（A日程）

| 試験科目 | 専攻・コース名 | 配点 | 大学入学共通テスト | | | 資格 | | 一般選抜（A日程） | | | | | | | | | | | 個別学力検査等 | 備考 | | |
|-------------------|------------------------------------|----|-----------|------|--------|------|------|-----------|---------|-----|-------------------|-----------|------------|----------|------|---------------|------------------|--------------|---------|-----|----|-------------------------|
| | | | 外国語 | 英語 | 任意の1科目 | 英語 | 英語 | 数学 | 専攻別実技試験 | 小論文 | 面接・口述試問（注3） | 副科実技（ピアノ） | コーリュウブゲンゲン | 新曲視唱（注4） | 初見演奏 | 聴音（和音・旋律）（注4） | 聴音（四声体和声・旋律）（注4） | 楽典（注4） | | | 創作 | |
| | | | 50点 | 100点 | 100点 | (注1) | (注2) | 各100点 | | | | | 各50点 | | | | | ABC (3段階) | | | | |
| 声楽 | 声楽芸術 | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | | | ○ | ○ | 選択② | | 選択② | | ○ | | | |
| 器楽 | ピアノ・ピアノ演奏家コース | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | ピアノ・創作コース | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | 専攻別実技試験はピアノ・創作コースのピアノ課題 |
| | チェンバロ | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | |
| | オルガン | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | 弦・管・打楽器 | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| 作曲指揮 | 作曲「芸術音楽コース」 | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | 専攻別実技試験に面接を含む |
| | 作曲「ミュージック・メディアコース」 ^(注5) | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | | 専攻別実技試験に小論文、面接を含む |
| | 指揮 | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | 専攻別実技試験に小論文、面接を含む |
| 音楽文化教育 | | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | ○ | ○ | | | 選択② | | 選択② | | | | 選択② | | |
| ミュージック・リベラルアーツ | | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 吹奏楽アカデミー | | | 選択① | | | 選択① | 選択① | | ○ | | ○ | | 選択② | | 選択② | 選択② | 選択② | | | ○ | | |
| ミュージックビジネス・テクノロジー | | | | | 選択① | 選択① | 選択① | 選択① | | | ○ ^(注6) | ○ | | | | | | | | | | |

※「選択」については、各専攻で同一番号の「選択」より1科目（音楽文化教育専攻の「選択②」のみ2科目）を選んで受験すること。

(注1) 文部科学省が公表した CEFR との対照表に基づき、本学独自に換算する。

(注2) 配点 100 点：音楽文化教育専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻
50 点：その他の専攻

(注3) 面接・口述試問の内容は専攻によって異なる。

(注4) 今年度本学受験講習会にて実施の認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

(注5) 今年度本学ミュージック・メディア ブレック・コースにて認定された者は、本入試での「和声」・「伴奏付け」の科目のいずれか、または両方の試験を免除する。

(注6) ミュージックビジネス・テクノロジー専攻を第2志望で併願する場合は、小論文の試験を免除する。

■併願できる専攻・コース（A日程）

- 第1志望のほか、特に希望する者は第2志望としてその他の専攻を併願できます。ただし、専攻によって、第2志望として受験できない組み合わせがありますので、以下の表で確認してください。
- 出願後は第1志望、第2志望とも専攻等の変更は認めません。また、第1志望の試験科目を受験せずに、第2志望のみを受験することはできません。
- 第1志望の専攻・コースで合格となった場合、第2志望の専攻・コースでは合否判定は行いません。

| 志望区分 | 志望区分 | | 第2志望 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------------------|--------------------|------|-----|-----------|-----------|-------|------|-----|------|-------------|--------------------|----|--------|----------------|----------|-------------------|---|---|
| | 専攻 | 専攻 | 声楽 | ピアノ | ピアノ演奏家コース | ピアノ・創作コース | チェンバロ | オルガン | 弦楽器 | 管打楽器 | 作曲「芸術音楽コース」 | 作曲「ミュージック・メディアコース」 | 指揮 | 音楽文化教育 | ミュージック・リベラルアーツ | 吹奏楽アカデミー | ミュージックビジネス・テクノロジー | | |
| 第1志望 | 声楽 | 声楽芸術 | | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | |
| | 器楽 | ピアノ | | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| | | ピアノ演奏家コース | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | | ピアノ・創作コース | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| | | チェンバロ | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| | | オルガン | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| | | 弦楽器 | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ◆ | ○ | |
| | | 管打楽器 | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| | 作曲指揮 | 作曲「芸術音楽コース」 | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| | | 作曲「ミュージック・メディアコース」 | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | | 指揮 | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | |
| | 音楽文化教育 | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | | |
| | ミュージック・リベラルアーツ | | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | ○ | | |
| | 吹奏楽アカデミー | | × | × | × | × | × | × | × | ◆ | × | × | × | × | × | × | ○ | | |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | | |

- ◆器楽専攻 弦楽器（コントラバス、ハープ）と吹奏楽アカデミー専攻（コントラバス、ハープ）は併願可能。
この場合、どちらが第1志望でも、器楽専攻と吹奏楽アカデミー専攻両方の実技試験を受けること。

■併願の試験科目について

| 第1志望 | 第2志望 | 第2志望専攻に必要な試験科目 |
|---|---|---|
| 声楽芸術 | ピアノ、ピアノ・創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮 | 第2志望実技、聴音(四声体和声・旋律)と新曲視唱の2科目 |
| | 弦・管打楽器 | 第2志望実技、聴音(和音・旋律)と新曲視唱の2科目 |
| | 音楽文化教育専攻 | 小論文、口述試問 |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| ピアノ | 声楽芸術 | 第2志望実技、コールユープンゲン |
| | ピアノ・創作コース | 創作 |
| | チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮 | 第2志望実技、副科実技(ピアノ)(第2志望がチェンバロ以外の者) ^{※1} |
| | 音楽文化教育専攻 | 小論文、口述試問 |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| ピアノ演奏家コース | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| ピアノ・創作コース | 声楽芸術 | 第2志望実技、コールユープンゲン、副科実技(ピアノ) ^{※1} |
| | ピアノ | ピアノ実技試験は器楽専攻(ピアノ)の課題 |
| | チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮 | 第2志望実技、副科実技(ピアノ)(第2志望がチェンバロ以外の者) ^{※1} |
| | 音楽文化教育専攻 | 小論文、口述試問 |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| チェンバロ | 声楽芸術 | 第2志望実技、コールユープンゲン、副科実技(ピアノ) |
| | ピアノ、ピアノ・創作コース、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮 | 第2志望実技、副科実技(ピアノ)(第2志望がピアノ、ピアノ・創作コース以外の者) |
| | 音楽文化教育専攻 | 小論文、口述試問、第2志望実技 |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| オルガン | 声楽芸術 | 第2志望実技、コールユープンゲン |
| | ピアノ、ピアノ・創作コース、チェンバロ、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮 | 第2志望実技 ^{※2} |
| | 音楽文化教育専攻 | 小論文、口述試問、第2志望実技 |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| 弦楽器 | 声楽芸術 | 第2志望実技、コールユープンゲン |
| | ピアノ、ピアノ・創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮 | 第2志望実技、聴音(四声体和声・旋律) ^{※3} |
| | 管打楽器 | 第2志望実技 |
| | 音楽文化教育専攻 | 小論文、口述試問 |
| | 吹奏楽アカデミー専攻(コントラバス、ハーブ) | 第2志望実技、面接および口述試問 |
| ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 | |
| 管打楽器 | 声楽芸術 | 第2志望実技、コールユープンゲン |
| | ピアノ、ピアノ・創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮 | 第2志望実技、聴音(四声体和声・旋律) ^{※3} |
| | 弦楽器 | 第2志望実技 |
| | 音楽文化教育専攻 | 小論文、口述試問 |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| 作曲「芸術音楽コース」 | 声楽芸術 | 第2志望実技、コールユープンゲン |
| | ピアノ、ピアノ・創作コース、チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、指揮 | 第2志望実技 |
| | 音楽文化教育専攻 | 小論文、口述試問、第2志望実技 |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| 作曲「ミュージック・メディアコース」 | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| 指揮 | 声楽芸術 | 第2志望実技、コールユープンゲン |
| | ピアノ、ピアノ・創作コース、チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」 | 第2志望実技 |
| | 音楽文化教育専攻 | 小論文、口述試問、第2志望実技 |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| 音楽文化教育 <small>*第2志望の実技課題を受験</small> | 声楽芸術 | 第2志望実技*、コールユープンゲン、副科実技(ピアノ)、楽典(第1志望受験時に楽典を選択しなかった者) |
| | ピアノ、ピアノ・創作コース | 第2志望実技*、聴音(四声体和声・旋律)、新曲視唱、楽典(第1志望受験時に楽典を選択しなかった者) |
| | チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮 | 第2志望実技、聴音(四声体和声・旋律)、新曲視唱、楽典(第1志望受験時に楽典を選択しなかった者) |
| | 弦・管打楽器 | 第2志望実技*、副科実技(ピアノ)、聴音(和音・旋律)・新曲視唱・楽典から第1志望受験時に選択しなかった1科目 |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |
| ミュージック・リハラルーツ <small>*第2志望の実技課題を受験</small> | 声楽芸術 | 第2志望実技*、コールユープンゲン、副科実技(ピアノ)、聴音(和音・旋律)・新曲視唱(選択)、楽典 |
| | ピアノ、ピアノ演奏家コース、チェンバロ、オルガン | 第2志望実技*、聴音(四声体和声・旋律)、新曲視唱、楽典 |
| | 弦・管打楽器 | 第2志望実技*、聴音(和音・旋律)、副科実技(ピアノ)、新曲視唱、楽典 |
| | 音楽文化教育専攻 | 小論文・口述試問、第2志望実技(第1志望が声楽、ピアノ、ピアノ演奏家コース、弦楽器、管打楽器以外の者) |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 聴音(和音・旋律)・新曲視唱・楽典から2科目を選択 口述試問 |
| 吹奏楽アカデミー | 弦楽器(コントラバス・ハーブ) | 第2志望実技、新曲視唱、聴音(和音・旋律)、副科実技(ピアノ) |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 | 選択科目 ^{※4} 、口述試問 |

- ※1 副科実技(ピアノ)は、ピアノ実技試験の成績を50点満点に換算したもので評価します。
- ※2 作曲「芸術音楽コース」または指揮を第2志望とする場合の副科実技(ピアノ)は、第2志望の課題で受験すること。
- ※3 オルガン、作曲「芸術音楽コース」または指揮を第2志望とする場合の副科実技(ピアノ)は、第2志望の課題で受験すること。
- ※4 B日程志願者は選択科目より1つを選択すること。

■専攻別試験科目・配点 (B日程)

| 試験科目 | 専攻・コース名 | 配点 | 調査書 | | 資格 | | 一般選抜(B日程) 個別学力検査等 | | | | | | | | | | | | | 備考 |
|-------------------|------------------------------------|------|---------|----------|------|------|-------------------|----|---------|-------------|---------|-----------|-----------|----------|------|---------------|------------------|--------|----|----|
| | | | 任意の1科目 | 外国語 | 外国語 | 英語 | 英語 | 数学 | 専攻別実技試験 | 小論文 (注5) | 面接・口述試験 | 副科実技(ピアノ) | コルチューブンゲン | 新曲視唱(注6) | 初見演奏 | (注6)聴音(和音・旋律) | 聴音(四声体和声・旋律)(注6) | 楽典(注6) | 創作 | |
| | | 100点 | 50点(注1) | 100点(注2) | (注3) | (注4) | 各100点 | | | | | 各50点 | | | | | ABC(3段階) | | | |
| 声楽 | 声楽芸術 | | ○ | | | | | ○ | | | ○ | ○ | 選択① | | 選択① | | ○ | | | |
| 器楽 | ピアノ、ピアノ演奏家コース | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | ピアノ・創作コース | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | チェンバロ | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | オルガン | | ○ | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | 弦・管・打楽器 | | ○ | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| 作曲指揮 | 作曲「芸術音楽コース」 | | ○ | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | 作曲「ミュージック・メディアコース」 ^(注7) | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| | 指揮 | | ○ | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| 音楽文化教育 | | | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | 選択① | | 選択① | | | 選択① | | |
| ミュージック・リベラルアーツ | | | | | | | | ○ | | ○ | | | 選択① | | 選択① | | | | | |
| 吹奏楽アカデミー | | | ○ | | | | | ○ | | ○ | 選択① | | 選択① | 選択① | 選択① | | ○ | | | |
| ミュージックビジネス・テクノロジー | | 選択① | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | |

※「選択」については、各専攻で同一番号の「選択」より1科目を選んで受験すること。

- (注1) 調査書3年間の外国語の学習成績の状況(評定平均値)を50点に換算します。
※卒業後、5年以上の経過者または、廃校、被災その他の事情により高校から調査書が発行できない場合は、本学の英語の試験を受けること。
- (注2) 調査書3年間の外国語の学習成績の状況(評定平均値)を100点に換算します。
※卒業後、5年以上の経過者または、廃校、被災その他の事情により高校から調査書が発行できない場合は、本学の英語の試験を受けること。
- (注3) 文部科学省が公表したCEFRとの対照表に基づき、本学独自に換算する。
- (注4) 配点100点:音楽文化教育専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻
50点:その他の専攻
- (注5) 面接・口述試験の内容は専攻によって異なる。
- (注6) 今年度本学受験講習会にて実施の認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。
- (注7) 今年度本学ミュージック・メディア プレップ・コースにて認定された者は、本入試での「和声」・「伴奏付け」の科目のいずれか、または両方の試験を免除する。
- (注8) ミュージックビジネス・テクノロジー専攻を第2志望で併願する場合は、小論文の試験を免除する。

■併願できる専攻・コース（B日程）

- 第1志望のほか、特に希望する者は第2志望としてその他の専攻を併願できます。ただし、専攻によって、第2志望として受験できない組み合わせがありますので、以下の表で確認してください。
- 出願後は第1志望、第2志望とも専攻等の変更は認めません。また、第1志望の試験科目を受験せずに、第2志望のみを受験することはできません。
- 第1志望の専攻・コースで合格となった場合、第2志望の専攻・コースでは合否判定は行いません。

| 志望区分 | 志望区分 | | 第2志望 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------------------|--------------------|------|-----|-----------|-----------|-------|------|-----|------|-------------|--------------------|----|--------|----------------|----------|-------------------|---|---|
| | 専攻 | 専攻 | 声楽 | 器楽 | | | | | | | 作曲指揮 | | | 音楽文化教育 | ミュージック・リベラルアーツ | 吹奏楽アカデミー | ミュージックビジネス・テクノロジー | | |
| | | | 声楽芸術 | ピアノ | ピアノ演奏家コース | ピアノ・創作コース | チェンバロ | オルガン | 弦楽器 | 管打楽器 | 作曲「芸術音楽コース」 | 作曲「ミュージック・メディアコース」 | 指揮 | | | | | | |
| 第1志望 | 声楽 | 声楽芸術 | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | | |
| | 器楽 | ピアノ | | × | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | | ピアノ演奏家コース | | × | × | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | | ピアノ・創作コース | | × | × | × | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | | チェンバロ | | × | × | × | × | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | | オルガン | | × | × | × | × | × | | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | | 弦楽器 | | × | × | × | × | × | × | | × | × | × | × | × | × | × | ◆ | ○ |
| | | 管打楽器 | | × | × | × | × | × | × | × | | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | 作曲指揮 | 作曲「芸術音楽コース」 | | × | × | × | × | × | × | × | × | | × | × | × | × | × | ○ | |
| | | 作曲「ミュージック・メディアコース」 | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | × | × | × | × | ○ | |
| | | 指揮 | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | × | × | × | ○ | |
| | | 音楽文化教育 | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | | ミュージック・リベラルアーツ | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | | 吹奏楽アカデミー | | × | × | × | × | × | × | ◆ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| | ミュージックビジネス・テクノロジー | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | | |

◆器楽専攻 弦楽器(コントラバス、ハープ)と吹奏楽アカデミー専攻(コントラバス、ハープ)は併願可能。

この場合、どちらが第1志望でも、器楽専攻と吹奏楽アカデミー専攻両方の実技試験を受けること。

※一般選抜(B日程)の併願試験科目は、一般選抜(A日程)の「■併願の試験科目について」(vii)を参照のこと。